

花や樹木などの育て方Q&A

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
1	アカシア	アカシアの花をきれいに咲かせる方法を教えてください。	ニセアカシアは、5月から6月に白い小さな花を咲かせる落葉高木です。どの枝にもよく日が当たるような剪定が大切です。花芽が冬にできるので、冬以降に強剪定すると翌年に花が咲きにくくなるので花が咲き終わってから夏までには剪定しましょう。 特に街路樹では、成長が早いので樹高や樹冠を制限したり、古木や樹勢の弱った樹木は強剪定若しくは伐採も必要です。	平成26年度
2	アサガオ	宿根アサガオで緑のカーテンを作りたいが、管理方法を教えてください。 また、宿根アサガオの特徴を教えてください。	宿根アサガオは、最近では東京でも一般的に栽培できるようになりました。成長が良く管理も難しくなく、ネットなどに絡みながら10mくらいは伸びていきます。 寒くなるとツル部分は枯れますが根が残ります。大変ですが、ツルは刈り取ってください。 また、寒さには弱いので根元は落ち葉や腐葉土などでマルチングしてください。 宿根アサガオは短日植物です。越冬したものは夏至が過ぎないと葉蕾が着き始めません。タネが成らないので増やすときは挿し木をしてください。	平成28年度
3	アジサイ	アジサイの花をいっぱい咲かせる方法を教えてください。	アジサイ（日本原産）は、今年でた枝には咲きません。2年目の枝で開花します。 ですから冬に根元で全て刈り込んだ株には新しい芽が大きく成長しても咲きません。しかし、アナベルなど洋種のアジサイは当年度枝に咲くものもあります。 剪定は、花が咲き、装飾花がしぼんで反転し始めたら、最低3枚以上の葉を残した節で、わき芽を残して剪定しましょう。花を切除したら化成肥料を施します。花を早めに切って9月までの間に翌年伸びる芽を充実させることがポイントです。	平成26年度
4		アジサイの剪定方法を教えてください。	アジサイの剪定で注意すべきは点は、花が当年成長した枝に着くのではなく、2年枝に着きますので、前年枝を必ず残して剪定することが必要です。	平成29年度
5		アジサイの剪定方法について教えてください。	ガクアジサイやアジサイの場合、花の咲くのは2年目の枝で当年度の枝には咲きません。したがって昨年の枝を最大限生かして剪定することが大切です。剪定時期は花芽分化前の8月ごろがよいでしょう。 アナベルやカシワバアジサイ等の外国産アジサイは当年枝に咲きますので、根元で刈り取っても今年伸びた枝に開花します。剪定時期は冬で構いません。	平成30年度
6	アベリア	アベリアの育て方（高さの調整や水やり等）を教えてください。	地植えの場合は、根付いてしまえば、とくに水やりの必要ありません。鉢の場合は鉢土が乾いたら水やりをしてください。脇芽が四方八方から出て、いちはやくそれなりの樹形となります。 高さの調整については、とんとん刈りこんで構いません。冬以外の時期に行ってください。	平成28年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
7	アメリカンチェリー	アメリカンチェリーの実が育たないので、育て方を教えてください。	<p>結実してもそれが育たないということであれば、①樹勢が弱い、②病気にかかっているの2つが考えられます。</p> <p>① 樹勢が弱っている場合は落葉期間中に寒肥を施し、樹勢を維持します。葉の着いている期間中でも即効性のある化成肥料を様子を見て施してもかまいません。</p> <p>また、衰退した枝は切戻して更新することも必要です。</p> <p>② 病気については灰星病や穿孔褐斑病などにかかることがあるので、罹ってしまった場合は適用農薬を散布して防除に努めます。</p> <p>それ以外にも果実が大きくなる過程で雨に当たると実が割れてしまうこともあるので、その対策も必要になります。</p>	令和3年度
8	アヤメ	直径30cmくらいの鉢植えにしているアヤメが咲かないので、咲く方法を教えてください。。	<p>根詰まりを起こしている可能性がありますので、植え替えをしてあげてください。植え替えは5月末までに行います。用土は赤玉土と腐葉土を7：3程度に混合します。葉は半分程度に切り詰めます。鉢の置き場所は直射日光が当たらない場所にします。乾燥を嫌いますので、水やりは怠らないようにしてください。肥料は元肥を施し、春先と夏場に1回程度、置き肥してあげましょう。ただ、肥料のあげ過ぎも花が少なくなる原因になります。</p>	平成28年度
9	生垣	生垣に適した樹木について	<p>簡単に刈込みができる成長が遅い木は、イヌマキ、ウメバガシ、サザンカ、ドウダンツツジ等です。逆に成長が早く生垣の形が楽しめる木は、カナメモチ、ツツジ、トキワマンサク等です。ドウダンツツジ以外は常緑低木です。樹木の性質を知って、形、花、新芽や紅葉等を楽しみながら生垣づくりにチャレンジしましょう。市では生垣づくりの助成を行っています。詳しくは水と緑と公園課までお問い合わせください。</p>	平成26年度
10		今年に入ってから生垣が急に枯れてしまうという事例をよく聞きます。考えられる原因などありましたら、防除方法と併せて教えていただきたいです。	<p>第1は夏の高温と乾燥が挙げられます。暑くなると土の水不足になり、これにより樹勢の衰退が起こり、酷くなると枯れてしまいます。生垣は密植で樹形も制限しているので、このような環境ストレスに耐性が低くなっています。近年は気候変動があからさまに起こっているため、それで枯れてしまうものが出てきていると思います。</p> <p>次に病気です。病気は生垣の種類によって異なります。マサキの「うどんこ病」、ヒサカキやハマヒサカキ、シャリンバイなどでは「すす病」が、ドウダンツツジでは「炭そ病」などが挙げられます。他にも西洋ベニカナメモチでは「ごま色斑点病」、イヌツゲでは「イヌツゲ枝枯れ病」などが代表的な病気で、病気が蔓延するといっきに枯れていきます。</p> <p>こういった病気は刈込や施肥を怠ると起こりやすくなるので、定期的な管理を心掛けましょう。</p>	令和4年度
11	イチゴ	プランターで育てているイチゴの実付きがよくありません。どうしたらよいでしょうか。	<p>イチゴの栽培で実着きが悪いのは、受粉がうまくできていないことが多いです。花が咲いたら柔らかい筆で雄しべと雌しべを数回撫でてあげれば受粉ができます。虫に任せているだけでは、受粉しないこともあり実の成りがあまり期待できません。</p>	令和3年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
12	ウメ	梅の葉にこぶができていますがどうしたらよいでしょうか	アブラムシなどによる虫こぶでしょう、見た目は悪いですが、特に開花とか結実に影響はありません。気になるようでしたら葉をとって処分し、園芸用殺虫剤を撒いて、新葉が出るのを待ちましょう。	平成27年度
13	オリーブ	オリーブを育てているが、実がならない。育て方を教えてください。	オリーブは自家受粉（自分の花粉で受粉）しにくい植物です。他家受粉（他の木の花粉で受粉）の場合、結実がよくなります。できれば違う品種のオリーブ（開花できる程度の大きいもの）をもう1本近くに植えましょう。	平成28年度
14		オリーブの剪定方法について教えてください。	2月頃に剪定し形を整えてください。成長を始めたならオリーブは上部が繁茂すると下枝が自然に枯れてしまいますので、枯れ枝を切ってください。	平成30年度
15	ガーベラ	ガーベラを長持ちさせるにはどうしたら良いですか。	鉢植えのガーベラであれば日当たりの良い場所に置いて栽培します。肥料は4月から10月まで液肥の1000倍液を2週間に一度、水遣りの代わりにやります。花が咲いて萎れ始めたら早めに根元から切り取ります。こうすると真夏と冬を除いて花が楽しめます。 鉢の植替えも毎年行います。2月下旬に水はけの良い土（赤玉土：腐葉土＝7：3）で植えます。元肥を混ぜておくといいでしょう。株が大きかったら、株分けもこの時にできます。	令和3年度
16	害虫	チャドクガの防除方法は？	チャドクガは、6月頃と9月頃の2回、ツバキ、サザンカ、チャノキ等に発生します。前年発生したところに再び発生することが多いので、そこを重点的に監視する必要があります。葉の裏にヒッシリ整列して初期は群生していますので、見逃さず切り落とし処分します。	令和元年度
17		家庭菜園で青虫などが発生して、困っています。良い駆除方法がありますか。	青虫の防除は、チョウに卵を葉の裏に産ませないことです。そのためには防虫用のネットを葉物野菜の上に架ける方法があります。 他にはニームオイルという植物由来の殺虫効果のある薬液が販売されているので、これを散布する方法もあります。これらの方法を試してみてください。	令和3年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
18	カキ	庭に植えている柿が百以上の実をつける年もあれば、数個しか実をつけない年もあります。 毎年、安定して収穫するために、何かできることはありますか。	カキ等の果樹の収穫は、表年・裏年があり、1年おきに豊作と凶作が繰り返すことがあります。カキの栽培農家では花芽や結実の若いうちに調整して、平均化しているようです。しかし、花の少ない年にはこの方法でも対応できません。完璧な方法はないようです。	平成30年度
19		毎年花を付かせても実が成る前にすべて落ちてしまいます。実が付かない理由で考えられるものを教えてください。	カキは前年に伸び充実した枝の芽から、春になって伸びる枝に花を咲かせ、実を成らせます。ですから、まずは充実した枝を育て、それは剪定せずに落葉後に必ず数本は残しておきます。充実した枝に結実しさえすれば、実が生理落下せずに熟すまで着いているのではないかと思います。肥料も適度に施しておくこともいい結果に結びつきます。 また、カキノヘタムシの被害を抑えることも必要です。この虫は6～7月と8～9月の2回発生します。6～7月に落下した果実を見て、へたの部分に食害した痕があるようでしたら、早めに殺虫剤で防除します。	令和4年度
20	ガクアジサイ	ガクアジサイの育て方を教えてください。	地植えが理想ですが、大きめのプランターや鉢植えでも立派に生長します。花は前年成長枝につき、当年発芽枝にはつきませんので、前年枝を残すように剪定してください。 鉢などの場合は、乾いたら水をきめ細かくやりましょう。	平成28年度
21	ガザニア	ガザニアのコンテナでの育て方を教えてください。	水はけの良い用土で植えます。ガーデンセンターで花用の用土があれば、それを用いてもよいです。大きく育つことも考え、土には緩効性の肥料を混ぜておくといいでしょ。長さ60cm程度の市販の細長いコンテナであれば、3株程度植えます。日当たりを好むので、よく日の当たる場所に置きます。 乾燥には比較的強い植物ですが、コンテナの表面の土が乾いたらたっぷり水を与えます。3年程度でコンテナがいっぱいになりますから、桜が咲くころに株分けすることもできます。冬は霜が直接当たらないような場所に置いて冬越しさせてください。	平成27年度
22	果樹	自宅の庭に果樹を植えて収穫を楽しみたいのですが、小平の土地で、お勧めの果樹を教えてください。	果樹にも色々あり、お好みや植えられるスペース、手入れができる頻度などによるため、一概には言えませんが、管理が簡単で害虫などが少ないものでは、ブルーベリー、イチゴ、ラズベリー、フェイジョア、イチジク、キンカンなどです。本格的に栽培されたいということであれば、モモ、ブドウ（巨峰）、ジュンベリー、暖地桜桃などです。	平成28年度
23		カキを育てていますが、それ以外で小平に適した果樹はどのようなものがありますか。	これから小平で期待できる果樹は生食やジャムに最適なブルーベリーやイチジクなどが挙げられます。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
24	カロライナジャスミン	カロライナジャスミンを育てていますが、花があまり咲きません。どうしたら良いでしょうか。	カロライナジャスミンは寒さに強いので、比較的簡単に育てられます。日当たりのいい場所に置き、冬は直接霜が当たらない場所であれば、屋外に置いておいても大丈夫です。植替えは2年に1回は行うようにします。時期は真夏と真冬を避けてください。成長がいいので植替えをしないと直ぐに鉢の中が根でいっぱいになってしまい花着きが悪くなります。肥料はあまり必要ありませんが、4月から10月の間に固形肥料を3回程度施します。花後はつるが伸びるので、1/3程度に切り詰めしておくとい良いでしょう。	平成29年度
25	観葉植物	初心者でも育てやすいオシャレな観葉植物を教えてください。	ドラセナ・マッサンゲアナ（斑入り）、ドラセナ・トリカラー、パキラ、エバーフレッシュ、マドカズラ、シンゴニウム、サンスベリア・ローレンティなどは、どこに置いてもきちんと生育する種類なのでおすすめです。	令和元年度
26	キク	キクを育てていますが、先端が萎れている。どのように処置をしたら良いでしょうか？	キクの場合、新芽が出揃い生長し始めた、5月頃にこの現象がよく起きます。吸水と旺盛な成長力のバランスがうまくいかないのが原因と思われる。まず灌水をしてください。それでも元にもどらない場合はピンチ（萎れた部分の切除）を行い、脇芽を成長させましょう。	平成28年度
27		キクを育てていますが若芽がしおれ、先が折れてしまいます。どうしたら良いでしょうか。	キクの若芽のしおれ、先端の破損は、キクスイカミキリによるものです。農薬での駆除もありますがこの虫はキク科全般に着きますから周辺にキク科植物が（雑草も含めて）ある限り駆除は難しいです。新芽を切ったり、傷つけたりしてそこに卵をうみます。しおれた場所から少し下で切って処分しましょう。	平成29年度
28	キダチアロエ	キダチアロエを購入して育てていたら、斑入りの葉を持った子株が出てきました。今後どのようにしたら良いでしょうか。	キダチアロエには何種類かの斑入り種が知られています。葉の斑入りは突然変異で起こります。しばらくそのまま育てて、斑入りが固定しているようでしたら、株分けをして別の鉢で育てたらよろしいでしょう。株分けは真夏を避けて9月末までに行います。	令和元年度
29	キンカン	キンカンの実が成らないのですがどうしてですか。	キンカンのかんきつ類の中で簡単に栽培できる種類の一つです。実が成らないのは、植えている場所と剪定時期の影響が考えられます。植える場所は日当たりのいい場所を選んでください。他の木の陰になるような場所では花着きが悪くなり、実着きも悪くなります。花は7月から8月に開花します。花芽分化は6月頃なので、6月以降に剪定すると花芽を切ってしまうことになります。剪定は3月中に済ませます。4月以降に伸びた枝に花が着くので、4月以降の剪定も禁物です。花さえ咲けば自家受粉するので実が期待できると思います。	平成27年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
30	キンカン	キンカンを植えたのですが、新芽も出ず、葉も黄色くなってきました。どうすれば良いでしょうか。	植えてあるところの土が固い場合は、冬の間に根元周りの土を掘って寒肥を施し、根が伸びやすくしてあげます。 水はけが悪い場所でもこのような症状になることがあります。その場合は根の周りに直径30cm、深さ60cmほどの穴を8カ所ほど掘り、長さ60cmのタケを用意し、半分に割って節を抜き、もう一度合わせてタケの筒をつくり、掘った穴に差し込んで埋め戻します。つまり地中の水分が抜けるように、竹で通気口を作るわけです。この時に埋め戻す土に肥料を混ぜても構いません。対処後、しばらく様子を観察してみてください。	令和3年度
31	キンモクセイ	キンモクセイの葉が落ちて困ります。どうしたらよいですか	キンモクセイは常緑樹ですが、4月から5月にかけて新しい葉が展開するのと同時に数年前の古い葉を落とします。これは生理的に止められることではありません。 キンモクセイは都内では花が咲き終わった直後に剪定します。この時に大きさを整える剪定をします。刈込に強い樹種なので、数年に一度は思いっきり切り詰めて大きさを抑えてもかまいません。ただし、強く剪定した翌年は花着きが悪くなります。木の大きさを抑えることで、葉を入れ替える時に落葉する量が少し抑えられます。	平成27年度
32	ギンモクセイ	ギンモクセイの育て方を教えてください。	キンモクセイに比べて白い花の珍しい常緑木です。幅広く成長するので広いスペースを確保して育てましょう。日当たりの良い、水はけの良い場所を好みます。春先から入梅までに植えましょう。9月から10月に白い花で良い香りがします。花芽は7月から8月に着きますので、剪定は花後か芽ぶき前の3月頃に行いましょう。	平成26年度
33	クレマチス	クレマチスの花が咲きません。咲かせるにはどうしたらいいでしょうか。	クレマチスは想像以上に肥料を欲しがります。冬の間に油粕や油粕の混合肥料を根元にたっぷり置いておきましょう。日当たりが悪くなければ花が咲くようになると思います。それでも花が咲かないようでしたら、ツルを一度切り戻してみても様子を見てみましょう。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
34	クロマツ	庭木や盆栽としてのクロマツの一般的な管理方法を教えてください。	<p>クロマツの管理は手をかけられるのであれば、かけるほど生育状態や樹形は良くなりますが、なかなかそうもいかないと思いますので、一般的な管理を記します。</p> <p>剪定は年に2回です。新芽が伸びる5月に芽摘みをします。これをしないしていると芽がどんどん伸びて樹形を乱すこととなります。</p> <p>もう一つの剪定は11月から1月にかけて行う葉透かし・もみあげです。葉透かしは枝が混み合っている部位があれば、枝を抜いて日当たりと風通しを良くしてあげます。もみあげは古い葉をむしり取る作業です。もみあげをしないしていると冬の間に松葉が落ちて、枝下に茶色くなった葉がたくさん落ち掃除が大変になります。これらの剪定は鉢植えも同じです。</p> <p>施肥は冬の間に根の周りに穴を何か所か掘って、油かすを施すといいでしょう。量は状態によって加減する必要があります。あまりあげすぎると病気が発生したりするので気を付けないといけません。鉢植えの場合も肥料は油かすがいいでしょう。</p> <p>鉢植えは植替えが必要です。2年か3年に一度は植替えです。用土は硬質の赤玉土か鹿沼土に腐葉土を3割程度混ぜて用土にします。植替えの時は根に着いた土を良くほぐし、根は1/3程度切り詰めます。</p> <p>鉢植えは水遣りにも気を付けます。日当たりのいい場所に置き、水はあげすぎると根腐れを起こすこともあり、少ないと枝枯れを生じることもあります。盆栽屋さんは水遣りに最も神経を使っています。でもあまり神経質になり過ぎないようにするのも大切です。マツの様子を毎日見つけて、いい加減に管理することが必要です。</p> <p>病害虫の防除も必要になります。葉に褐色や黒い斑点が出ることがあります。放置しておくと枝枯れにつながります。この場合は植木屋さんか樹木医に相談して、適切に防除しましょう。</p>	令和4年度
35	クンシラン	クンシランを鉢植えで育てているが、何年も咲かないので、咲かせ方を教えてください。	<p>クンシランが何年も咲かない原因として、鉢のなかで根が充満している状態が考えられます。この場合は株分けをして植え替えてください。また、管理においては、8月以降水やりをしないことが大切です。</p>	平成28年度
36	コオニユリ	コオニユリは食用になりますか。	<p>コオニユリは食用になります。ユリ根の収穫は秋になり葉が黄色くなってからです。</p> <p>春になり芽が伸び始めたら、緩効性の肥料を月に1回施します。6月になると蕾が出てきますが、ユリ根を収穫したいのであれば花は摘み取る方が味も良くなるといわれ、球根も大きくなります。</p>	平成30年度
37	ゴーヤ	ゴーヤの種からの育て方を教えてください。	<p>ゴーヤの種は堅い殻で包まれています。扁平の形をしています。一箇所飛び出たところがあるので、そこを爪切りやニッパなどで切り落とし、一晩水に浸しておきます。この種をビニールポットに撒きます。5月中旬にもなると日中の気温が20度以上になっているので、2日から3日で発芽すると思います。本葉が4枚から5枚になり、苗がしっかりしたら畑やプランターに移植します。先端が伸び始めたら、一度先端を切り、脇芽を伸ばすようにすると株のボリュームが出ます。ネットや支柱にバランス良く巻き付けていってください。</p>	平成27年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
38	ゴーヤ	ゴーヤのタネの播き方について教えてください。	ゴーヤを簡単に発芽させるには、硬い殻をメンチなどで一部を傷つけるか、とがっている先を爪切りなどで切り取るかやすりで擦って傷つけます。その種をティッシュやガーゼにくるんで一晩水に浸しておきます。鉢に播く場合は小指の第一関節くらいの穴を開けて、吸水させたタネを入れて軽く土をかけてたっぷりの水をやり、25℃以上の暖かな場所に置いておきます。その際に鉢の上に新聞紙を掛けておき、鉢の表面が暗くなるようにします。そうしておくこと3日くらいで発芽します。	平成29年度
39		ゴーヤが発芽した後、プランターに移し替える時期を教えてください。	プランターに移し替える時期は、本葉が3~4枚の時にやります。定植後は本葉が展開し始めるので5枚になったら摘心（伸びる先端を摘み取る）をします。その後は親づつと孫づつが伸びだしますので、ネット全体に絡むように誘引して展開させていきます。	平成30年度
40	コデマリ	コデマリの育て方を教えてください。	春には手まり状で可愛い花を枝に付ける落葉低木です。日当たりの良い場所を好みます。施肥は寒肥が望ましく、堆肥を根元からやや離して施しましょう。剪定は花が終わった直後に、樹形を整えるように飛び出した枝を切り戻します。冬期には古くなった太い枝や混み合っている枝を間引くように剪定しましょう。	平成26年度
41	ゴムノキ	ゴムノキの育て方を教えてください。	ゴムの木は観葉植物の中では比較的育てやすい種類です。 置き場所は明るい室内にします。東京の春から秋までの直射日光はかなり強いので、屋外には置けません。また、冬は零下になる場所も避けます。 土は水はけがよい用土で育てます。園芸店で観葉植物用の用土を購入して植えるが、赤玉土中粒に腐葉土か酸度を調整したピートモスを3割程度混ぜて植えてもいいでしょう。水遣りは土の表面が乾いて白っぽくになったら、鉢の底から水が抜けるくらいたっぷりあげます。施肥は4月から9月までの間に月1回、化成肥料を規定量施します。 ゴムノキは生長も良く大きくなるので、置く場所の広さに合わせて剪定をして樹形を整えます。剪定は5月から9月までの間に行います。切り口から樹脂が出るので、直接肌に付かないようにします。人によってはかぶれることがありますので注意してください。樹形づくりを兼ねて取り木をして増やすこともできます。	令和4年度
42	サクラ	サクラの剪定方法を教えてください。	枝の途中で切らずに枝の根付で、えりを少し残して切る必要があります。できれば太い枝は切らないようにしますが、切らなければならない場合は、切り口に殺菌剤を塗り保護する必要があります。また、混み枝は枯れやすいので当初から剪定しておきましょう。剪定すると、幹や枝の途中から胸吹き枝が出ることもありますが、様子を見ながら切除するか更新する枝に活用するか観察していきましょう。	平成26年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
43	サザンカ	サザンカを生垣として10年以上育てていますが、葉っぱがあまりつかず、幹が細いままところがあります。どうしたらよいか。	部分的に成長が悪い場合は、土壌条件の違いによることが多いです。植栽地周囲を掘って、確認しましょう。埋め戻しの際に腐葉土等を加え土壌改良すると、状態がよくなることがあります。	平成30年度
44	サツキ	サツキの花をよく咲かせるにはどうしたらよいですか	サツキの花期は5月から6月です。花後に伸びた新枝の先端に7月中には花芽を着けます。花芽が着いた後の晩秋などに剪定すると、花芽を切り落としてしまい花が咲かなくなります。花を咲かせるには、花が咲き終わった直後に剪定するのがよいでしょう。秋の剪定は、樹形から飛び出したような枝を切る程度にとどめ樹形を維持しましょう。	平成27年度
45		サツキの育て方を教えてください。	地植えの場合はほとんど手入れは要りません。そのまま毎年花が咲きます。鉢植えの場合には水やりはかかせません。また、刈り込む場合は花が終わった後すぐに刈り込んでください。夏には来年の花芽分化が完了していますので、秋以降に刈り込むと花芽をおとすこととなります。	平成29年度
46	サボテン	サボテンの植替えの方法について教えてください。	サボテンの植え替えは、春(3~5月)と秋(8~9月)に行います。サボテン類は一般的に水はけの良い土を好みます。サボテン用の用土が市販されているので、これを用いると便利です。サボテンの根から土をきれいに取り除き、伸びすぎた根と黒ずんだ古い根は取り除いて植え替えをします。植え替え前と後の一週間は水やりを控えます。直射日光の当たらない所で保管してください。	平成30年度
47	サルビア	サルビアの育て方を教えてください。	緩効性の化成肥料を混ぜて土づくりをしてから、日当たりの良い場所に植えてください。花が咲き終わったら、こまめに花殻を摘み取るようにすると、次々と花が上がってきます。8月には花がいったん休みます。この時に切戻して追肥します。9月になるとまた株が充実しだし、花が咲き出します。花はうまく育てると11月まで咲き続けます。	平成28年度
48	シクラメン	シクラメンを毎年咲かせるコツを教えてください。	シクラメンを毎年咲かせるためのポイントは、うまく夏越しさせることです。夏越しは休眠させる方法とさせない方法がありますが、休眠させる方法が簡単です。5月になると葉が徐々に少なくなり、やがて葉はなくなりますので、この間は水を控えながら与え続けます。葉が完全に枯れたら、鉢を軒下の様な所におき、水もやらずに保管します。9月には前年よりも一回り大きな鉢に植え替えます。用土は赤玉土に腐葉土を3割混ぜ、緩効性の肥料も適量加えておきます。植え替えたら水やりも再開します。やがて葉が展開し始めますので、液肥を与えながら葉が茂ってくるのを待ちます。きちんと管理すれば、年が明けるところから花が上がり始めます。	平成30年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
49	シバ	芝生の管理について	日本芝・西洋芝とも日照条件が不可欠です。特に日本芝は陰が出来ると衰退して行きます。成長期に刈込は必須です。すなわち芝生は低く刈り込まれた形で、生態的に成立しています。雑草をどのように取り扱うかで管理レベルが異なってきます。完全除草では純粋な芝生で成立し、雑草交じりの芝生でもよいなど芝生に求める機能と精度によって管理費が大きく違ってきます。芝生地造成の段階から管理の話は始まっていると認識すべきです。重機で刈込できるか否か、通年を通してエバグリーンを確保するか否か、サッカーなど人が入るか否かなど計画の段階で管理内容を決定します。	平成26年度
50		芝生の植え方を教えてください。	芝生の種類は様々あり、大きく分けると日本芝と西洋芝に分かれます。日本芝には高麗芝や野芝などがあります。芝生の材料としては、切芝とロール芝があります。植え方は、芝生を張る場所を除草して、深さ10cm程度耕し、平らにします。床土に芝生を敷き、転圧を行い、目土入れ、灌水をして完成です。切芝の場合は芝が動いてしまう恐れがありますので、目串を打ち込んで固定させてください。根がしっかりと根付くまで、立ち入らないようにします。また、日本芝の場合冬季は枯れ葉となってしまいますので、9～10月頃に冬芝型の西洋芝の種子を散布（オーバーシーディング）すれば、年間を通じたエバグリーンの芝生を確保することができます。	平成28年度
51		芝を植えると数年後には雑草に負けて芝がなくなってしまうがちです。こまめに雑草を取り除くこと以外に気を付けることを教えてください。	芝については芝が健全に生育できる土壌条件を維持するのが前提のようです。日当たりがよく水はけがいいことが条件の一つで、この維持は利用庄と反比例するので、いい状態を維持するのは難しいです。日当たりさえ良ければノシバからセントオーガスチングラスに品種転換して成功しているところもありますので、こういった方法も検討してみたいかでしょうか。それとまずは一回、徹底して雑草を排除して、雑草のない状態を作り、その後は刈り高と調整しながら芝の活力を落とさないようにするという方法もあるようです。	令和3年度
52		庭に植えた芝生を長持ちさせる方法で適度な水やり、雑草の除去、芝刈り以外に有効な方法があれば教えてください。	シバは徐々に地表面が締まってきます。これを防ぐのにエアレーションが効果的です。ローンスパイクという器具が市販されているので、これを購入してシバに定期的に切れ込みを入れて、土の通気性と透水性を確保してあげます。頻度は5月と9月に各1回でいいでしょう。	令和4年度
53	シモツケ	シモツケの育て方について教えてください。	シモツケは日当たりがよく、水はけのいい場所を好みます。育て方は比較的簡単で、伸びすぎる傾向があるので、できれば毎年冬の間古い枝を切り詰めてあげるとコンパクトな樹形が維持できます。肥料は冬の間油粕の配合固形肥料などを根元に施しておくようにします。肥料を与えすぎると新芽にアブラムシが着きやすいので気を付けてください。	平成29年度
54		シモツケの増やし方について教えてください。	普通は挿し木で増やします。年に2回挿し木ができ、1回目は2月に前年に伸びた枝を10cmほどの長さに切って赤玉土に挿します。2回目は6月から7月にかけて今年に伸びた枝で挿し木ができます。挿し木の発根は比較的しやすい樹種です。また、株が大きくなりすぎた場合は、冬の間根株を掘り上げて株を割って増やす方法もあります。	令和元年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
55	シャクナゲ	セイヨウシャクナゲの花が咲かないので、咲かせ方を教えてください	セイヨウシャクナゲは日当たりの良い場所を好みますので、周りの庭木の陰になっている場所では花はあまりよく咲きませんので、日が当たるように周りの庭木を剪定してあげましょう。西洋シャクナゲの根は地表近くに集中し、地中には細かな根がたくさんです。西日が根元に当たるようでは、根が乾燥してしまい、地表面も温度が上がりますので、そのような場合は腐葉土で根元を覆います。腐葉土の中に緩効性の肥料を混ぜておくと、西洋シャクナゲに効いて元気が出てきます。やがて花着きもよくなっていくでしょう。	平成27年度
56		セイヨウシャクナゲの花が咲きません。咲くようにするにはどうすればよいですか。	セイヨウシャクナゲは日当たりがよい場所によく育ちます。品種によっては剪定も可能ですが、大きく育つまでは剪定はしません。植えた場所により西日が根元に直接当たるようだと徐々に枯れてしまうので、そのような時は根元に腐葉土やバーク堆肥を敷いて（マルチング）、西日が直接根元に当たらないようにしてあげます。枝が茂ってくると根元は日陰になるので、この必要はなくなります。肥料は緩効性の肥料を3月と6月に与えてください。枝葉が充実してくると花が着くようになります。	平成30年度
57	シャコバサボテン	シャコバサボテンを育てている。赤いものが出てきているが、根元は木のようにになっている。枯れているのか？どのようにしたら良いか、教えてください。	シャコバサボテンの赤いものは、おそらく芽です。寒さに弱いので、11月末頃に家の中の陽の当たる場所に移しましょう。根元の部分は何年か経つと、木化してきます。伸びた葉を葉挿しして、新しいシャコバサボテンを作れば、しばらくは緑色の基部が保たれます。	平成28年度
58	スイセン	スイセンの花が咲き終わった後の葉の処理はどうすればよいか。	スイセンの葉は、6月頃全て枯れてしましますが、その間は光合成で球根を太らせていますので、そのままにしておいてください。	平成30年度
59	スモモ	スモモの大木があり、毎年花がたくさん咲くが、実がなりません。実を成らせる方法がありますか。	スモモは自分の花粉では実を成らせない性質の強い樹種です。近所に花粉樹となるスモモ類があると受粉して実がなるようになります。そのため、近所がない場合などは、花粉樹としてもう1本ご自宅にスモモ類を植えないといけなかもしれません。その際に、品種によっては受粉の相性があるので、そのこともよく調べて相性にいい品種を植えてください。	令和元年度
60	ゼニゴケ	建物北側の植込地にゼニゴケが発生どのような対策をとるべきでしょうか	まず、ゼニゴケを完全に除去し、砂など排水性のよい土を混ぜ合わせて改良し、下草を植栽してゼニゴケが生えないようにします。下草としては、タマリユウ、ローズマリー（這い性）等があげられます。	平成27年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
61	雑木林	武蔵野の雑木林にはどんな植物があるのか教えてください。	<p>雑木林植物の立体構造は上部から、高木、亜高木、低木、草本となっています。具体的な樹木を紹介します。</p> <p>(高木) コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、イヌザクラ、イヌシデ、アカマツ、クリ、ケヤキ等</p> <p>(亜高木) エゴノキ、リョウブ、アオハダ、ウワミズザクラ、ゴンズイ等</p> <p>(低木) ムラサキシキブ、マユミ、カマツカ、ウツギ、マルバウツギ、コゴメウツギ、モミジイチゴ、キブシ等</p> <p>(草本) キンラン、ギンラン、タチツボスミレ、アオイスミレ、キツネノカミソリ、カタクリ、エビネ、ヤブラン、ムワサキケマン、ノカンゾウ、シロボウエンゴサク、ホタルブクロ、センニンソウ、エビスル、ボタンズル、ウマノスズクサ、ノブドウ、ツルウメモドキ、カリガネソウ、ツリフネソウ、ヤマユリ、オニユリ、ムサシアブミ、イチリンソウ、ニリンソウ、ヤマブキソウ、アズマイチゲ、カンアオイ等</p>	平成26年度
62	チューリップ	何年前に植えたチューリップが年によって咲いたり、咲かなかったりします。チューリップは何年かに一度咲くような花なのでしょうか。	<p>チューリップは球根植物で、前年に植えた球根は親株となり、そのすぐ脇から小さな球根ができ、これらが分球して増えます。前年に植えた球根が大玉でいい球根でしたら、その翌年もこの親株の球根から花が咲きますが、普通は2回（2年）の開花が限度です。1回咲くだけの養分しかない球根でしたら、親株の球根は分球した小さな球根に養分を渡して消えてしまいます。分球した球根が開花するまでには、2-3年かかります。植えたチューリップが咲いたり咲かなかったりというのは、植えっぱなしにした球根が分球して、開花できる大きさの球根になった場合に咲いているのではないかと思われます。普通、チューリップは毎年球根を初夏に掘り上げます。そして分球した小さな球根を秋に植えて球根を太らせ、2年後に開花する球根に育てます。</p>	平成29年度
63	ツツジ	ツツジの育て方について	<p>ツツジには多くの種類があり常緑性や落葉性もあります。開花は4月から5月です。花が咲き終わった直後から7月上旬までに剪定しましょう。その後は翌年の花芽が着くので、樹形から飛び出した小枝を切る程度の剪定にしましょう。肥料は寒肥を2月に、花後にお礼肥をしましょう。</p>	平成26年度
64	ツバキ	ツバキを育てているが花が少ないので、よく咲くようにするにはどうしたら良いのでしょうか？	<p>良く日が当たるところで育ててください。花が終わった直後に混み合った枝を透かし剪定します。</p> <p>夏に花芽をつくるので、夏以降は剪定しないようにしてください。</p>	平成28年度
65	デンドロビウム	デンドロビウムを10年以上育てていますが、満足のいくように花が咲きません。どうしたら良いのでしょうか。	<p>デンドロビウムは花が咲いた茎には花が咲きません。その根元から伸びた新しい茎に花が咲きます。したがって花を咲かせるには、新しい茎を伸ばすようにします。古い茎は新しい茎を伸ばす養分が詰まっているので、そのままにしておきます。</p> <p>鉢の置き場所はよく日が当たるような場所が良いです。肥料は洋ラン用の固形肥料を置き肥（5月と6月）するか液肥が必要です。液肥は4月から10月まで月に2回は施すようにしてください。冬は5℃以上のところに置いてください。水やりは秋から冬の間は少なめにします。春から夏の間はたっぷり与えます。そうすると花芽が秋にでき、3月に花が咲くようになります。</p>	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
66	デンドロビウム	デンドロビウムの育て方について教えてください。	<p>デンドロビウムは洋ランの中でも比較的栽培しやすい種類ですが、冬は室内に取り込まないと冬越しできません。耐寒温度は5℃です。</p> <p>春になり、1日の最低気温が10℃くらいになったら室外で管理できます。春の間は良く日に当て、夏は明るい日陰になるような場所で育てます。秋は落葉樹が色づく7℃を目安に室内に取り込みます。また、ある程度寒さにあたらないと花芽は着けないので、秋は気温が7℃になるぎりぎりまで屋外に置いておきます。</p> <p>肥料は4月から7月までの4か月間は、液肥を1,000倍にして月に2~3回与えます。このように管理すると2~3月に花が咲きます。花が咲いたバルブ（茎）は、翌年に伸びるバルブに栄養を送り込むので、しなびて黄色くなるまでは切らずにおきます。</p>	平成30年度
67	トマト	トマトの苗を購入したが、栽培方法を教えてください。	<p>日当たりのいい場所を選んで植えてください。水はけがいいところの方が良く育ちます。植えたら下の葉の付け根から伸びる脇芽は摘み取ってください。下の方に花が着く場合がありますが、花を摘み取り、上に伸びる芽を大切にします。枝葉が伸びるようになったら花も付き始めます。支柱を立てて結束し、ときどき化成肥料を与えます。与え過ぎはアブラムシの発生を招くこともあるので、様子を見ながら施してください。アブラムシはこまめに指でつぶすのが効果的です。プランターでつくる場合も畑と同じですが、支柱をきちんと立てて、それに枝を結束していくと倒れずに済みます。</p>	平成28年度
68		庭に植えたトマトの葉が白っぽく変色してきたので対策を教えてください。	<p>トマトうどん粉病の可能性ががあります。放置しておくとも苗全体に蔓延する可能性があるため、被害を受けた葉が少なければ、その葉を付け根から摘み取ります。摘み取った葉を土の上に置きっぱなしにはいけません。被害を受けた葉が数枚ある場合は農薬を散布して防除します。トマトうどん粉病に適用する薬剤がありますので、園芸店で購入して使用方法に従って散布してください。やがて病気は消えるはずでです。</p>	令和元年度
69		トマトとナスの花着きの苗を購入しましたが、最初の花はそのままにしておいてもいいのでしょうか。	<p>トマトとナスともに最初の花は、取ってしまう方がよいでしょう。まずは上に伸ばすことを優先し、支柱を立てて苗が倒れないようにしましょう。しっかり根付くと、茎が伸びて葉が展開し、気温が上がってくるにしたがい花が咲き出します。やがて実が成り出すので、食べ頃になるまで育て収穫してください。順調に育つと葉の付け根から脇芽も出てくるので、それらは付け根から摘み取るようにしてください。</p>	平成27年度
70	ナス	ナスの育て方について教えてください。	<p>ナスの苗を長さ60cmのプランターにひと苗植えます。用土は野菜用を準備します。用土を自分でブレンドする場合は、赤玉土の中粒に腐葉土を3割程度混ぜたものにします。植えるときには、伸びた苗が倒れないように支柱を立てて苗に結束しておきます。一番花が咲き始めたら、葉の付け根に脇芽が伸びてくるので、勢いのいい脇芽を3-4本残して他の脇芽は欠いてください。やがて花が次々と咲きだし、枝も伸びてくるので、それぞれの枝は支柱を立ててやります。脇芽欠きはこまめにして、苗の姿を整えるようにします。水を切らさないようにして、ひと月が過ぎるころから追肥も忘れないようにします。真夏の間は実成りは休みますが、この間に枝を切り詰め、化成肥料を与えておくと、真夏を過ぎた頃から枝が伸び始め、秋まで収穫できます。</p>	平成29年度
71	ナデシコ	ナデシコの育て方を教えてください。	<p>緩効性の化成肥料を混ぜて土づくりをしてから、日当たりの良い場所に植えてください。花が咲き始めるようになったら、花殻は早めに摘み取ります。そうすることで脇芽が伸びて次の花が咲き出します。夏場にはいったん切戻し、追肥を施してください。</p>	平成28年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
72	ニラ	ニラにつくアブラムシの防除方法を教えてください。	農薬をかけると防除できることは分かっていますが、ニラは口に入るものなので、薬剤散布は心理的に抵抗があります。牛乳を薄めてかけるという民間防除法もあるようですが、有効かどうかはやってみないとわかりません。一度バッサリと地際から刈り取って、その後は光を通す不織布を被せるという方法もあるようですが、不織布のドームの中で退治しきれなかったアブラムシが大量繁殖ということもあるそうです。大量でなかったら、手で取る方法が一番安全で効果が高いと思われます。	平成27年度
73	庭木	日の当たらない箇所にはどのような植栽を植えるとよいでしょうか。	日の当たらない場所では、アオキ、ヤツデ、シュロ、マンリョウ等が強いです。高木ではシラカシ、アラカシ等がおすすめです。	令和元年度
74		樹木を移植する際の注意点とタイミングは？	落葉樹は冬の休眠期に、常緑樹は梅雨時が移植タイミングです。注意点としては、大木の場合、根回しという作業を1～3年前から太さによって、事前に準備しなければなりません。	令和元年度
75	ハーブ類	家庭で園芸植物を育てたいのですが、害虫がつかない、園芸植物を教えてください。	ミント類、セージ類、ローズマリーなどのハーブ類は、比較的害虫が少なく栽培も難しくありません。また、ハーブティーや料理にも利用できます。	平成30年度
76	ハイビスカス	鉢植えで育てているハイビスカスの葉が黄変して落ちていきます。どうしたら良いでしょうか。	鉢の植替えをしていないと、鉢の中で根詰まりを起こしますので、鉢の植替えをしてください。時期は真夏と真冬を避けて行ってください。用土は水はけの良い用土にします。市販の鉢植え用の混合されている用土か赤玉土：腐葉土（7：3）で植えてください。	平成29年度
77	花苗	ポットの花苗の植え付け時の根の処理方法はどのようにしたら良いでしょうか。	多くの花苗はポットの中で根が密生し、張っている状態になっています。ポットから取り出して、3分の1ぐらい下根をカットし、周辺の根をほぐして植え付けると周辺によく馴染んで活着します。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
78	花苗	これからの季節（5月）の花苗は何がおすすめでしょうか。	夏に向けて、おすすめはインパチェンスやペチュニアです。インパチェンスは秋にもう1度花が咲きます。	平成29年度
79	ハナミズキ	ハナミズキの花が咲かないので、咲かせるするにはどうしたらよいでしょうか。	ハナミズキは庭植えにして花が良く咲きます。庭植えの場合でも日当たりの良い場所に植えていると、夏に乾燥しすぎることがありますので、日照りが続く時期は時々灌水してあげてください。また、花芽は7月にはできますので、それ以後の剪定は花芽を切ってしまうことになるので、剪定は最小限にしてください。 それから12月から2月にかけて、寒肥を施すと木が充実して花付も良くなります。根元から1mほど離して、有機質の肥料（完熟の堆肥）を10ヶ所程度スコップで穴を掘って、掘った土と混ぜて埋め戻します。量は肥料の種類によって異なるので、肥料の説明書に従ってください。	平成30年度
80		ハナミズキの花芽がたくさん着いていたのに、咲いたのが数個で新葉も紅葉のように変色した葉が出てきた。今後の対応について教えてください。	ハナミズキは夏の高温と乾燥に弱く、前年の厳しい夏を乗り越えてから弱った可能性があります。しばらく様子を見て、葉が順調に展開したようだったら、秋以降に樹勢回復の手立てがとれます。	令和元年度
81	ハナミズキ カワバアジサイ	ハナミズキを植えて3年が過ぎたころに元気がなくなり枯れてしまいました。その後にカシワバアジサイを植えて2・3年が過ぎて花が咲くようになり、また突然枯れてしまいました。どう対応したらいいでしょうか。	ハナミズキやカシワバアジサイを植える際に、同時にたい肥を施して植えていると、そのたい肥が腐熟して根に影響を与えている可能性があります。最低でも植える1か月前にたい肥を土と混ぜて馴染ませてから苗を植えるようにしましょう。	令和元年度
82	ハナモモ	ハナモモの剪定方法を教えてください	花が咲き終わったら、その直後に花の咲いた枝の付け根から2芽から3芽を残して、その枝先を剪定します。その後、残した複数の芽から枝が伸び、8月には伸びた枝の葉の付け根に、翌春咲く花芽ができます。秋に落葉を待って、枝が混んでいるところがあれば、枝の付け根から切除し、樹形の全体を整えます。この時にあまり切りすぎると花芽のついている枝を切ってしまうことになるので注意します。ハナモモは寒肥を適度にあたえることで枝数が増え、伸びも良くなります。	平成27年度
83	バラ	バラのお礼肥えはどうしたらよいでしょうか	バラは開花後に牛ふん、リン酸肥料、骨粉などを根の周囲にあたえるようにしましょう。	平成27年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
84	バラ	3、4前に植えたモッコウバラの花が咲かないのはどうしてでしょうか。	モッコウバラはバラの中でも栽培しやすい種類です。花を咲かせるために注意しておく点は剪定時期と肥料のあげ過ぎです。花芽ができるのは8月なので、剪定時期は5月下旬から6月下旬までです。冬剪定は禁物です。また、シュート（若芽）が伸びますが、シュートの誘因を8月以降にすると、せっかくできた花芽を傷つけることになりしますので、誘因作業は剪定と同時に行いましょう。モッコウバラは生育が旺盛ですが、6月から9月にかけては骨粉を中心に肥料をしっかりとやるといいでしょう。油かすなどの窒素分の多い肥料を多くやると葉ばかり茂り、花芽を着けなくなるがあるので注意してください。	平成27年度
85		バラの育て方を教えてください。	骨格をつくる本剪定は新しい葉のでる前の2月ごろにおこなひましょう。春の花が咲いたら花柄摘みの剪定を行います。秋にも咲きますので春伸びすぎたり、絡み合った枝を整理して秋の開花に備える剪定を8月から9月に行い、秋の開花後の花柄摘み剪定も行いましょう。また、つる性のバラは、冬に前年枝の勢いの良い枝を残して弱い枝を剪定しましょう。春の花が終わったら肥料をあげますが春以降も咲く種類は定期的に追肥が必要となります。	平成26年度
86		鉢植えにしているバラをできるだけ農薬を使わずに管理したいので、その方法を教えてください。	バラは黒点病やうどんこ病が発病しやすいので、まずは風通しと日当たりのいい場所に置いてください。発病した葉はすぐに摘み取ってください。アブラムシ類は手でつぶすようにします。出たては数が少ないので、この時に徹底して防除していくと蔓延しません。また、2年に1回は植え替えを行い、元肥は十分に施してください。基本剪定は2月、花が咲き終わった後に軽剪定を行ってください。	平成28年度
87		バラを育てているが、いくら植えても咲かない。カイツカイブキの垣根が近くにあるが、何か関係があるか？	カイツカイブキはナシと近接して植えると赤星病を媒介するため、ナシの特産地では条例を制定して、ナシ畑周辺にカイツカイブキの植栽を制限しているところもあります。しかし、同じバラ科ではありますが、バラでは確認されていません。どんな病気かわかりませんが、黒星病の場合は、ワラ材でマルチングを施したり、水やりは根元に与えるなど、土壌中からの伝播を防ぐことが有効です。	平成28年度
88		庭にバラのアーチがありますが、きれいな型にできません。剪定の時期や方法など教えてください。	つるバラは、バラの中でも成長が良く、誘引さえうまくできれば花が期待できます。剪定は一般的には冬が近づいてくる頃に行います。12月中に剪定とシュートの誘引をするようにしてください。剪定では太いシュートを残し、細い枝や混み合った枝などは元から切除します。太いシュートをアーチに結わいて固定させます。やや無理をしても結わいてやるのがポイントです。剪定と誘引が終わったら、同時に肥料を施してください。誘引はアーチの上部から下に向かうところまでが限界です。アーチの半分は別のバラを植えるか、クレマチスなどのつる性の植物を植えても面白いと思います。	平成28年度
89		鉢で育てているバラにアブラムシがついて困っています。また枯れそうなバラがあります。どうしたら良いでしょうか。	アブラムシは、少ない範囲であれば捕殺しましょう。大量であれば土中にオルトランを埋めて退治しましょう。また、わずかに萌芽が出たバラはその萌芽を大切に育てましょう。バラは大量の肥料をほしがりますので、地植えにして肥培管理をするのも一つの方法です。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
90	ビワ	ビワの木に実が生るものと生らないものがあるのはなぜですか。花は咲いているのに実が生りません。どうすれば実が生りますか。ビワの木は日当たりの良い場所で、水の流れていない用水路沿いに生えています。	ビワは果樹の中でも栽培しやすい種類で、花が咲けば普通は実が成ります。これといった原因は思い当たらないですが、実を成らせる方法のひとつとして、実の成らないビワの方を一度剪定してみてください。これによって枝に日の当たり方が変わり、その刺激によって実を成らせるようになることもあります。時期は9月でやや強めの剪定をして様子を見てください。施肥はしなくてもいいです。	令和元年度
91	フジ	実生のフジが咲きません。どうしたら咲くようになりますか	実生のフジは花が咲くようになるまで、普通は10年ほどかかります。桜が咲き終わる頃からツルが伸び始めますので、ツルはこまめに切らず、7月上旬までは伸ばし、勢いのいいツルはこの時期にツルの先端を摘み取り、伸びを止めます。同時に枝が混んでいるところの枝は剪定して、葉にまんべんなく日が当たるようにします。ツルの伸びを止めることで、7月下旬から8月にかけて花芽が形成されやすくなります。 落葉後の剪定は樹形と整えるための剪定ですが、すでに花芽ができていますので、花芽と葉芽を見極めて剪定します。この時に大胆に剪定すると花芽を切り落としてしまうので、花芽と葉芽を見極められないときは、翌春に芽が膨らみ始めてからだと芽の見極めができるので、それまで剪定は待ちます。肥料は油かすなどの有機質の肥料を寒肥として根元付近に施します。フジは思っている以上に肥料を必要とするので、多めにやると花の数も増えます。ただし、葉もよく茂ります。	平成27年度
92		昨年秋剪定したフジが咲かないのはどうしてでしょうか。	フジは、花芽か葉芽かの分化が十分でないので、昨年の秋の剪定で強剪定し花芽も切除してしまった可能性があります。今年はそのまま伸ばして花芽と葉芽がわかる時期に剪定しましょう。(花芽は房状になってきます。わからない場合は花が終わった後に剪定しましょう。) また、鉢植えの場合は2~3年で鉢替をしましょう。	平成27年度
93		フジの花が咲きません。どうしたら良いでしょうか。	フジは一般的に葉が落葉した冬の時期に剪定を行います。花芽分化(花芽になるのが確定する時期)が6月中に完了していますので余り強く剪定すると、花芽をなくしてしまうことが多いので、開花後、軽めに剪定してください。また、根をさぐり掘りして、切ることで開花の刺激となります。	平成29年度
94		鉢植えで育てているフジの花が咲きません。咲くようにするにはどうしたら良いでしょうか。	フジは成長の速い植物で鉢植えにしているもつるが良く伸びます。また、肥料と水を多く欲しがりますので、剪定と水やり、施肥を間違わなければ花は期待できます。肥料は冬の間には骨粉を中心に根元に施します。チッ素分が多い油粕単体は葉が茂りすぎて花が咲きませんので避けてください。花の後にも6月中に1回、化成肥料で構いませんので施肥をしてください。蕾が膨らみ始めるころから水は欠かさずにたっぷりやるようにします。花芽は夏につくられますので8月以降は剪定はしないでください。次年度の花は初夏から伸びる短い枝に着きますので、この枝を大切にします。つるが伸びる枝は7月下旬に短く摘み取ると伸びなくなり、その分花芽形成につながります。鉢の植替えは2年に1回、冬の間に行ってください。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
95	フジバカマ	フジバカマの育て方を教えてください。	地植えの場合は、根付いていれば、夏場の乾燥した日が続いている時に水をあげる程度で十分です。鉢植えの場合は、表面が乾いていたら水をあげましょう。耐暑性も耐寒性にも強く、簡単に育てることができる植物です。肥料は3月と花後の10月にお礼肥をあげましょう。冬に葉が茶色になって枯れたら根元から、切り取りましょう。宿根草ですから根が残って、ここから来年も芽がでます。種と地下茎で増えます。増えすぎたら仕切りなどを埋めてコントロールしましょう。	平成28年度
96	ブルーベリー	ブルーベリーの苗をもらったので育て方を教えてください	植える場所は庭でもいいですが、ブルーベリーは酸性の土壌を好みますので、鉢植えにする場合は直径30cmくらいの鉢の底に石を敷いたうえで、腐葉土7、ピートモス3の割合で混ぜた土に植えてあげてください。園芸品店等で売っているブルーベリー用の土でも構いません。乾燥には弱いので、植えた後はわらやパークチップを敷くといいです。実付きをよくするためには、2本並べて育ててあげてください。日当たりが良い場所が好きですが、鉢植えの場合は真夏の間だけ半日陰の場所に置くようにしてください。寒さには比較的強いですが、夏を過ぎるまでは水が切れないように、毎日水やりをしますが、冬は週に1回程度に抑えてください。実は6～7月頃に付けます。屋外で育てて完熟に近づくと、実を鳥に食べられてしまいます。それを防ぐため、屋外の庭に植えている場合はネットなどで覆ったり、鉢で育てている場合はその時期は屋内に移動するなどしてください。	令和5年度
97		7年前にいただいたブルーベリーを大きくならないように剪定していますが、このまま鉢を変えずに育てても良いのでしょうか。また1株だけでよいのでしょうか	根詰まりを起こしている可能性があります。根詰まりしているとシュート（若枝）も出にくくなり枝の伸びも悪くなり実着きも悪くなります。3年に1度は植替えしましょう。植替えの際に枝を切り詰めて水はけのよい赤玉土と腐葉土をいれてください。また、1本でも木が充実さえしていれば実は成ります。	平成27年度
98	ミカン	ミカンの木の枝が枯れてしまう。どうしたら、枯れを防げるか教えてください。	ミカンの枝枯れを起こす原因は、大きく分けると2つあります。1つは枝が細く軟弱で、日照りが続くなどの環境変化が起こった時です。この場合は充実した枝をつくるのが枝枯れ防止になります。剪定は2月下旬から3月上旬に行います。前年に実を付けた枝は、今年は実を付けないので半分以下の長さに切り詰めます。前年に実が付かなかった枝には花が咲き実が付くので、剪定せずに残しておきます。交互に枝を育てることで、枝は丈夫になります。もう1つは害虫によるものです。特にカイガラムシ類が発生することがあるので気を付けてください。いい実を採るには実を成らせ過ぎないことです。7月に青い実ができれば、適当に摘果するとよいでしょう。肥料は緩効性のものを3月、6月、9月に施します。油粕や牛糞などの有機質肥料も寒肥として施すと丈夫に育ちます。	平成30年度
99	ミニトマト	ミニトマトの育成法について教えてください	大きめの鉢か地植えにしましょう。葉が茂り過ぎると栄養が果実にまわらないので、茎と葉の付け根から出てきた脇芽は早めに手でかきとりましょう。ある程度成長したら茎の先端を摘芯して広がりをもたせましょう。また支柱やネットに絡めて支えてあげましょう。	平成27年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
100	ミニトマト	ミニトマトの芽かきの正しい方法を教えてください。	ミニトマトを植えると葉を互い違いに出しながら茎（主枝）が伸びて行きます。しばらくすると葉の付け根から芽が伸び始めてきます。これをわき芽といいます。これを放置しているとどんどん伸びながら太くなってしまいます。そうするとトマトの株の形が乱れてしまうので、わき芽を取っていかねばなりません。特に下の方の葉から出るものは摘み取ってあげると株の形も良くなり、栽培しやすくなります。	平成30年度
101	ムベ	ムベを育てています。実は食べられるでしょうか。	ムベは生食もできますが、ジャムなどにしても食べられます。しかし、種の部分に甘味があり種と分離するのが手間です。	平成29年度
102		育てているムベの実がなりません。どうしたら良いでしょうか。	ムベは雄花と雌花があります。開花したときに受粉を手助けしてあげましょう。具体的には雄花と雌花の開花時期が異なるため、先に咲く雄花を採取して冷蔵庫で保管して雌花が開花したら人工授粉させます。	平成30年度
103	モチノキ	庭のモチノキの葉に黒い斑点ができてしまいました。新芽はきれいなのですが、去年までの葉はほとんど黒くなってしまいました。原因は何でしょうか。どう対応すればいいでしょうか。	黒い斑点はおそらく虫（タイワントガリキジラミ）の影響です。他の葉にも影響が出てしまうもののため、黒くなってしまった葉は取り除いた方がいいです。すでに黒くなってしまった葉は葉を使用しても回復しませんが、他へ影響が出ないようにするために葉を使用するのは予防対策の一つです。5月初旬～中旬頃に葉を撒くといいでしょう。	令和5年度
104	モウソウチク	竹林（モウソウチク）の管理について、新しい竹に更新する際に切るべき古い竹を見分けるポイント及び伐採に適した時期を教えてください。	モウソウチクは4・5年で稈を更新するのがいいとされます。古い稈は全体がやや黄ばんできたり、節の周り（上下方向）が黒ずんで来たりしますので、その頃が更新の目安になります。	令和3年度
105	モンステラ	モンステラを10年以上育てていますが、下葉が枯れ幹が伸びすぎてしまい、バランスが悪く植替えたいと思います。どのようにしたら良いでしょうか。	伸びすぎたモンステラは途中から気根がでますので、この気根の下で幹を切り、鉢植えにします。鉢植えにする時期は4月から9月の間で、用土は水はけのよい土を選んでください。もう一つの方法は、モンステラの葉が着いた茎の節を少なくとも一つ残してこま切りにし、これを土の上に伏せて水やりを続けます。この方法は茎伏せといい、増殖の方法の一つです。	平成29年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
106	モンステラ	伸びすぎたモンステラの剪定の仕方と時期について教えてください。	剪定する時期は、5月から9月にかけての生育期です。モンステラの剪定はとても簡単で、葉の付け根から茎を切るだけです。伸び切ってしまったようなものでしたら、茎を切り詰めても構いません。ただし葉は何枚か必ず残しておいてください。切った茎を1節にこま切れにし、市販されている観葉植物用の用土に伏せておくと根が出て株を再生させることもできます。	平成30年度
107	ヤブカラシ	ヤブカラシの除去方法を教えてください。	ヤブカラシは地上部を採っただけでは退治したことにはなりません。葉の無い冬は地中に芋状の塊根が残り、再び発芽してしまいます。根こそぎ抜根採取しなければなりません。	平成30年度
108	ユズ	ユズの鉢植えの管理はどのようにしたらよいか	ユズは、大分長い間、鉢に植えたままのようですから鉢の端に根が集中している状態が予想されます。可能ならば鉢植えから地植えに変えた方がよいですが、鉢植えのままにする事情があるのであれば次のようにしてください。 ① 植替えする際は、以前より大きめの鉢に赤玉土や腐葉土を入れて水はけの良い環境を作り、端に集中した根をほぐして植替えしましょう。 ② 6月から7月頃に結実を確認してから、実が着いていない徒長枝（スーッと伸びた枝）や混んでる枝を中心に切除し、高さを1メートルぐらいに切り詰めましょう。通常、実は8月から12月に成ります。 ③ 3月にも間引き中心の剪定を行い、通風や採光を良くしましょう。	平成27年度
109		ユズの剪定方法について教えてください。	10月頃に剪定してください。春から伸びた枝と花の咲いた枝を残すように剪定してください。	平成30年度
110	寄せ植え	花の寄せ植えを長持ちさせるための工夫を教えてください。	花を長持ちさせるには同じ鉢の中には、栽培上で似た種類を合わせるようにします。水を欲しがるものと乾き気味な土を好む花が一緒になると、どちらかだけが育ち、環境に合わない方が弱っていきます。それと咲き終わった花はこまめに摘み取ります。これをするだけ花が咲き続けるようになります。	令和5年度
111	ライラック	ライラックの育て方を教えてください。	ライラックは暑さを嫌いますので、風通しのよい涼しいところに植栽しましょう。特に西日の当たるところは禁物です。流通しているほとんどはイボタノキを台木とした接ぎ木苗です。台木からの萌芽は除去しましょう。	平成30年度

番号	ジャンル	相談内容	みどりの相談員による回答内容	登録年度
112	レモン	レモンの育て方を教えてください。	レモンは日当たりのいい場所で栽培してください。剪定は2月中に、混み合った枝を付け根から抜くようにします。春から秋までは水切れしないようにします。肥料は冬に元肥をほどこし、4月、6月、8月に化成肥料を追肥します。	平成28年度
113	ロウバイ	種から植えた、10年ほど経つロウバイの花が咲きません。どうしたら良いでしょうか。	ロウバイの花芽分化（花芽になるのが確定する時期）は6月～7月です。10月ぐらいに剪定をしようとしてしまうと、花芽を切除している可能性がありますので、剪定を控えて生長させてみてください。開花が確認できるかもしれません。	平成29年度
114	ローズマリー	ローズマリーの育て方や増やし方を教えてください。	ローズマリーは生育が良いので、放置しておくと株が大きくなり樹姿が乱れてきます。冬に切り詰めるなどして形を整えます。混み合ったところの枝を先端だけ刈り込むようなことはせずに、付け根から切除してください。増やし方について、ローズマリーは挿し木の出来る植物です。5月から6月に、伸びた枝を赤玉土にさしてくと根付きやすいです。	平成28年度